

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【公表番号】特表 2019-514555 (P2019-514555A)

【公表日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報 2019-021

【出願番号】特願 2018-556811 (P2018-556811)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 13 日 (2020.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼内への挿入のために構成されたデバイスであって、ベースを備えており、

前記ベースが、

前方ハウジング部と、

後方ハウジング部と、

前記前方ハウジング部と前記後方ハウジング部との間に延びる中間ハウジング部とを備え、

前記前方ハウジング部が、

前方壁と、

前方壁の前方端における前方開口と、

前記前方開口の後方における前方チャンバであって、前記前方開口の幅よりも大きい幅を有する、前方チャンバとを備え、

前記中間ハウジング部が、前記前方および後方ハウジング部よりも幅広く、かつ前記前方および後方ハウジング部から突出しており、

前記中間ハウジング部が、前記前方チャンバの後方において凹部を有しており、

前記凹部が、前記前方チャンバによって前記前方開口から離間しているとともに、前方突起と後方突起と前後方向に延びる側壁とを備える、デバイス。

【請求項 2】

前記後方ハウジング部が、

後方壁と、

前記後方壁の後方端における後方開口と、

前記後方開口の前方における後方チャンバであって、前記後方開口の幅よりも大きい幅を有する、後方チャンバとを備え、

前記凹部が前記後方チャンバによって前記後方開口から離間している、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 3】

前記前方ハウジング部、前記後方ハウジング部、前記中間ハウジング部のそれぞれが環状である、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 4】

前記凹部が環状である、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 5】

前記凹部が、前記前方チャンバよりも幅広い、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 6】

前記凹部内での受容のために構成されたレンズをさらに含む、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 7】

前記レンズが前記凹部内に受容されるとき、前記レンズの前方表面が、前記前方チャンバによって前記前方開口から離間している、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 8】

前記ベースの前後高さと前記レンズの厚さとの比率が、2 : 1 から 3 : 1（前記ベースの高さ : 前記レンズの厚さ）の範囲である、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 9】

前記ベースが、前記中間ハウジング部から径方向外側に突出する一対の支持部をさらに備える、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 10】

眼内への挿入のために構成されたデバイスであって、ベースを備えており、

前記ベースが、

前方開口を備える前方ハウジング部と、

後方開口を備える後方ハウジング部と、

前記前方ハウジング部と前記後方ハウジング部との間に延びる中間ハウジング部と、

前記前方ハウジング部、前記後方ハウジング部、および前記中間ハウジング部を通じて延びる通路とを備え、

前記中間ハウジング部が、前方突起と後方突起と前後方向に延びる側壁とを備えた凹部を備え、

前記通路が、前記前方開口から前記後方開口まで延びており、前記通路の径方向幅が、前記通路が前記前方開口から前記前方ハウジング部を通じて前記中間ハウジング部まで延びるに従い増大し、前記通路が前記中間ハウジング部内に延びるに従いさらに増大し、前記通路が前記中間ハウジング部から前記後方ハウジング部を通じて前記後方開口に向かうに従い縮小する、デバイス。

【請求項 11】

前記さらに増大した径方向幅を有する前記通路の部分において前記中間ハウジング部内に受容されるように構成されたレンズをさらに備える、請求項 10 に記載のデバイス。

【請求項 12】

前記レンズが、

中央光学部と、

前記中央光学部から径方向外側に突出する少なくとも 1 つの拡張部とを備え、

前記拡張部が、前記さらに増大した径方向幅を有する前記通路の部分を画定する前記中間ハウジング部の 1 つ以上の表面に係合するように構成されている、請求項 11 に記載のデバイス。

【請求項 13】

前記少なくとも 1 つの拡張部が、複数の拡張部を含んでいる、請求項 12 に記載のデバイス。

【請求項 14】

前記複数の拡張部が、前記中央光学部の正反対の位置から突出する一対の延長部を含む、請求項 13 に記載のデバイス。

【請求項 15】

前記少なくとも 1 つの延長部が第 1 の延長部であって、

前記レンズが、前記中央光学部から径方向外側に突出する第 2 の延長部をさらに備え、

前記第 2 の延長部は、前記第 1 の延長部よりも堅い、請求項 12 に記載のデバイス。

【請求項 16】

前記レンズが、前記中間ハウジング部内に受容されるとき、

前記デバイスが、

前記レンズの前側面における前方チャンバであって、前記前方ハウジング部の前方壁によって径方向に囲まれており、前記前方開口よりも幅広い、前方チャンバと、

前記レンズの後側面における後方チャンバであって、前記後方ハウジング部の後方壁によって径方向に囲まれており、前記後方開口よりも幅広い、後方チャンバとを備える、請求項 12 に記載のデバイス。

【請求項 17】

前記ベースの前後高さと前記レンズの厚さとの比率が、2：1 から 3：1（前記ベースの高さ：前記レンズの厚さ）の範囲である、請求項 11 に記載のデバイス。

【請求項 18】

前記ベースが、前記中間ハウジング部から径方向外側に突出する一対の支持部をさらに備える、請求項 10 に記載のデバイス。